

花粉症の治療について

気候も温かくなり、花粉症の患者さんが多く来院されるようになりました。

花粉症はスギやヒノキなどの花粉が体内に入りアレルギー反応を起こす状態で、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎として知られています。

主な症状はくしゃみ、鼻水、鼻づまり、眼のかゆみです。

症状出現の時期や、症状を見てアレルギーの薬が処方されることも多いですが、どのような物質が原因となっているか採血検査で調べることができます。

検査結果の一例です。

検査項目	クラス	測定値	コメント	単位	基準値	陰性	疑陽性	陽性
IgE(非特異的IgE)		58.3		IU/mL	173以下			
特異的IgE				UA/mL	クラス0			
ホシノキ	3	4.19				---	---	*
ブタクサ	0	0.34以下				-*		
ヨモギ	0	0.34以下				-*		
スギ	2	3.04				---	---	*
ヒノキ	0	0.34以下				-*		
コナヒメヒゲニ(ダニ=2)	3	7.50				---	---	*
ハウスダスト1	3	7.22				---	---	*

アレルギー性鼻炎の治療は内服、点鼻、免疫療法、手術など多岐にわたります。

症状の程度や生活に合わせ、相談しながら決めていきます。

① 内服

抗ヒスタミン薬、抗ロイコトリエン薬、遊離抑制薬など アレルギーの薬と言っても沢山あります。用法も1日1回～3回のものまでさまざまです。

眠気などの副作用を感じる患者さんも居ますので、効果と副作用のバランスをみて薬を選択する必要があります。

② 点鼻薬

鼻に噴霧する薬剤です。鼻噴霧用ステロイド薬や抗アレルギー薬があります。小児でも使用することができます。

③ 免疫療法

体内にアレルギーの原因物質を少量ずつ投与し、症状を和らげたり日常生活の不具合を改善させる治療です。最近では舌下免疫療法がおこなわれるようになり、スギおよびダニに対するアレルギー患者が適応です。注意点や副作用について十分理解してから治療開始となります。（行える施設には限りがあります）

④ 手術

鼻閉、鼻水、くしゃみを改善させるために手術を行うこともあります。

鼻粘膜焼灼術、下鼻甲介手術、神経切断術などがありますが、患者さんの症状や希望に合わせて行います。

[耳鼻咽喉科の外来予定表はこちらをご覧ください。](#)

